

## ラーニング・サポーター ♪ 3月のつばやき -JWUラーニング・コモンズさくらより-

図書館 2 階 JWU ラーニング・コモンズさくら(以下「さくら」と略)では、学科・専攻推薦を受けたラーニング・サポーター(本学大学院生)が学修相談を受け付けます。学修相談以外にもミニ講座の開催や「さくら」の活動支援をしながら、感じたこと、思ったことを「つばやき」、本学学生の皆さんに学修相談に訪れてもらいたいと思っています。ラーニング・サポーターは「さくら」で皆さんをお待ちしています！

### <3月のつばやき♪INDEX>

- p1 花粉対策に「べにふうき」 @S.N.(英文学専攻博士課程前期2年) 3月13日 up
- p1 心の春に @K.S.(日本文学専攻博士課程前期2年) 3月17日 up
- p2 最終勤務月-六年間を振り返って- @S.A.(史学専攻博士課程前期2年) 3月14日 up
- p3 伏線回収 @M.A.(人間発達学専攻(児童学)博士課程後期3年) 3月1日 up
- p3 リージョナルランドマークストアで日本の文化を感じる @T.R.(英文学科4年) 3月1日 up

### つばやき1 ♪

#### 花粉対策に「べにふうき」

3月になり、暖くなるにつれて外に出たいと思う日が多くなりましたね。この季節は暑すぎず寒すぎず、心地よい気候で大好きな季節なのですが「花粉」に悩まされる人も多いのではないのでしょうか？私もそのうちの一人です。私の場合は軽症なので約2か月間、点鼻薬と飲み薬を服用してなんとか落ち着かせていらしていますが、体調によっては薬の影響で眠くなることもあるので、なんとかならないかなあと毎年考えています。薬は抵抗がある…でも花粉症がツライ…というお悩みを持つ方に、今日は「べにふうき」というお茶をご紹介します。

先日、友人と「HIGASHIYA GINZA」という日本のお茶を扱ったティーサロンに行った際に、数十種類の中から自分の好みに合ったお茶を店員さんとお話しながら試していたのですが、「べにふうき」というお茶には花粉症の症状を和らげる効果がある、と教えていただきました。このお茶は、二煎目、三煎目となると香りと共に渋みが強くなるお茶のようで、その理由が「メチル化カテキン」という成分によるものなのだから。そしてこの成分こそが、アレルギー症状を緩和させる重要な要素であるとのことでした。「べにふうき」は紅茶として飲むこともできるのですが、花粉症対策に飲む場合は緑茶で飲むのがよいそうです。試してみたい方はぜひ「緑茶」と記載されている「べにふうき」をお試ください。

「HIGASHIYA GINZA」にも売っているので、東京にお住まいの方はぜひ行ってみてください。様々なお茶があるので「べにふうき」だけでなく、お気に入りのお茶にきつと巡り合えるはず。日本の「和」を存分に静謐な空間で楽しめる非常に落ち着いたティーサロンで、私が行ったときは季節の和菓子に桜餅や日向夏を使用した生菓子などがあり、お茶と一緒に和菓子を楽しみながら少し早い春を堪能することができました。残りの春休み期間でしっかりリフレッシュして英気を養い、花粉に負けずに新学期から一緒に頑張りましょう！

### つばやき2 ♪ 心の春に

枝の先のふくらんだ新芽が心をつく  
 よろこびだ しかしかなしみでもある  
 いらだちだ しかもやすらぎがある  
 あこがれだ そしていかりがかくれている

\*文学研究科 英文学専攻\*  
*Department of English Literature*

✪自己紹介✪  
博士課程前期2年  
日英翻訳(産業翻訳)の仕事と学業を両立中

✪研究対象✪  
18-19世紀イギリス詩：ロマン派詩人 William Wordsworth

✪ひとこと✪  
文系大学院ってどんな感じ…？  
語学の勉強のコツは…？  
英語で論文はどう書くの…？  
日英翻訳の仕事って…？など、英語学習に関するご相談はもちろん、学びに関する様々なお悩みや気になっていることについて、一緒にゆっくり考えていきましょう！お待ちしております～☺






心のダムにせきとめられ  
よどみ渦まきせめぎあい  
いまあふれようとする  
この気ちはなんだろう

—谷川俊太郎「春に」

だんだんと寒さも和らいで桜の樹にも小さな花が開いています。今年の見ごろは卒業式の頃のように、春は一足も二足も早くやってきたようです。昨年から今年にかけて、時の流れが途端に早くなったように感じるのは私だけでしょうか。ハロウィンが終わる前に街中はクリスマスの飾りで溢れ、クリスマスが終わる前におせち料理の広告が並び、新年の余韻もそこそこに、節分、バレンタインデー、雛祭り、ホワイトデー。目まぐるしく移り変わる時の流れに乗り遅れないよう、今年の桜はすこし焦って花をつけたのかもしれない。

桜の咲く季節になると思い出すのは、谷川俊太郎さんの詩「春に」です。合唱曲としても有名なこの詩は、春という季節を心の動きに着目して表現しています。満開の桜や鮮やかな菜の花畑といった風物の美しさも春らしいものではありますが、何とも言えないもどかしい気持で胸がいっぱいになるのも春ならではの気付きかされます。意味もなく焦ってしまったり、理由のわからない不安に襲われたり、かと思えば、のんびりとした穏やかな気持ちになったり。目に映る華やかな光景とは裏腹にどこか落ち着くことのできない心。この気ちはなんだろう、そう感じた時に今年も春の訪れを知るのです。

少し早まった桜の季節。満開の桜と共に多くの人が新たな門出を迎えることでしょう。私自身もその一人ではありますが、こうした春らしい心の動きさえも桜を愛でるかのごとく大切に味わえる日々を過ごしたいと感じます。

末筆ながら、この春にご卒業を迎える皆さまおめでとございます。皆さまの新しい毎日がより一層、輝きに満ちたものになりますように。

**文学研究科 日本文学専攻**

▶ **自己紹介**  
 ・博士課程前期2年（M2）近代文学専攻  
 ・資格：教員免許（中高国語）

▶ **研究対象**  
 学部時代から引き続き、大正から昭和にかけて活躍した作家・宇野浩二の作品を研究しています。

▶ **ひとこと**  
 演習授業やレポートについてはもちろんのこと、教職の模擬授業や教育実習について、大学院進学相談など、ぜひお気軽にいらしてください。

つばやき3♪ **最終勤務月 一六年間を振り返って**

3月に入り、日中はだいぶ暖かい日が増えてきましたね。皆さんいかがお過ごしでしょうか。私は今月のつばやきが最後の投稿となります。そこで、改めて大学での生活を振り返ってみたいと思います。

まずは学生生活についてです。学部生の頃は、授業や教職関連の勉強に追われていた印象でした。中学・高校の頃から、もともと勉強は得意ではなく、大学進学後もレジュメやレポート作成、学期末テストの勉強には、とても苦労していました。ですが、私が所属していた史学科は、私の好きな歴史の勉強が中心なので、高校までの「覚える」ということではなく、「新たな歴史を見つける」という意識をもって、楽しみながら学修を進めていました。

とはいえ、学部1～3年生までは、「文章を書くことや勉強が苦手な自分が、本当に卒業論文が書けるのか。」というも思っていました。実際に4年生になって卒論の研究を進めると、想像していた通り、史料収集に行き詰ってしまうことなどが多々ありました。研究が進まない時は辛いと感じることもありましたが、全て終わってみると「なんだかんだ楽しんでやってたな。」と振り返られる程、充実した日々を送っていました。大学院進学後も同じです。修士論文を書いている自分を、つい最近まで想像することが出来ませんでした。この二年間は卒論以上に、なかなか方向性や結論が見出せず、一進一退を繰り返していた時間が長かったです。しかし、最後は今までの集大成として、研究を楽しみながら修士論文を執筆していました。勉強が苦手という不安を抱えて入学してから、結局は飽きることなく、がむしゃらに突き進んできたこの六年間、本当にかげがえのない時間になったと思います。

続いてラーニング・サポーターについてです。私は修士1年から携わせていただきました。最初はうまく学修相談

**文学研究科 史学専攻 博士課程前期2年**

【専門分野】  
 日本中世仏教史（星供と呼ばれる法会について研究を行っています。）

【サポート内容】  
 履修相談、参考文献の探し方、レジュメ・レポートの書き方 など…

【取得資格】  
 中学校教諭一種免許（社会）、高等学校教諭一種免許（地理歴史）

何かお困りのことがありましたら、  
 お一人で考え込まず、お気軽に  
 ラーニング・サポーターのところへお越しください！

ができるのかといった不安や緊張が大きかったです。皆さんとお話するのはとても楽しく、充実した時間を送ることが出来ました。特に 2022 年度は学科を超えて、より多くの方と交流することができ、毎回の相談が楽しかったです。普段は日本史を研究していますが、ラーニング・サポーターでは全く違う分野について調べたり、考えたり、時には相談にいらした学生さんから教えていただくこともあり、とても勉強になりました。また一度ではありますが、ミニ講座も開催させていただきました。新入生の皆さんに、大学での生活を少しでもイメージしていただけるよう意識してお話させていただきました。内容として、私の体験談が中心となってしまいましたが、いろんなことに挑戦してみたいと思うきっかけになっていたいただけに幸いです。

改めまして、ラーニング・サポーターとしては約 2 年弱となりますが、大変お世話になりました。ミニ講座を聴講していただいた方、相談に来ていただいた方、今月のつぶやきを読んでもらった方、本当にありがとうございました。ここでの経験を活かし、4 月からの生活も一歩ずつ頑張っていこうと思います。今後、皆さんにとって充実した日々になることを心より願っています。

## つぶやき4♪ 伏線回収

もうすぐ卒業シーズンである。自身の卒業時を思い出すと、これまで当たり前顔を合わせていた学科の同級生たちの中には、接点がなくなって、もう二度と会うことがない人も、ということに衝撃を受けた記憶がある。その後コロナ禍になり、当時想像していたよりもっと会う機会は少なくなった。

とは言え、大学時代の友人が結婚し、先日、その新居に遊びに行かせてもらった。遊びに行っていることなのか？とは思いますが、今クール放送されているドラマを、話しながら一緒に見た。「ブラッシュアップライフ」というドラマで、事故で死んだ主人公がもう一度自分の人生をやり直すというタイムリープものである。主人公の年齢が私たちより少しだけ上の同世代なので、懐かしいものや出来事といった「あるある」がたくさん登場して盛り上がった。

影響されやすいので、自分が人生やり直すとしたらをつい考える。子どものころから振り返って、幼稚園の頃はいいとしても、小学校の勉強や運動会、受験、部活…大変だったあれこれをまたやらないといけないうんて、考えただけ疲れる。性格はあまり変わっていないと思うが、何も考えていないからできたであろうことも、今の自分ならきっとできない。多分部活には入らない気がする。

そう考えると、これまで何となく選択してきたことを、人生のやり直しをしたらやらないということがあるかもしれない。そうすると、何気ない経験がその後の思いがけない場面で役立ったりすること(勝手に「伏線回収」と呼んでいる)もなくなる。それは怖いので、臆病な私は選択を間違えないように慎重に生きようとするかもしれない。

そんなことを考えて、高校生の時だろうか、英語の教科書に載っていたスティーブ・ジョブズのスピーチを思い出した。スティーブ・ジョブズが自身の体験として「大学を中退したことで、必修科目でもなんでもなかったカリグラフィーの授業を受けようと思い立ち、そのときの経験が Mac にインストールするフォントに生かされた。」と話す部分である。偶然こんな結果になったんだよ！という話ではなかったと思う。偶然に経験してきた出来事に意味を持たせるのは自分だ、ということだろう。「伏線回収」は勝手にされるものではなくて自分がするものであり、だとすると、その瞬間なんの意味もなさそうな出来事や知識を臆病がらずにストックしておいた方がいいのかもしれない。いつかタイムリープするという運命になっても(?)、ならなくても、あれこれ先のことを考えて慎重に動かず、いつか何でも自分が伏線回収する！という大胆な心づもりで生きようと思う。

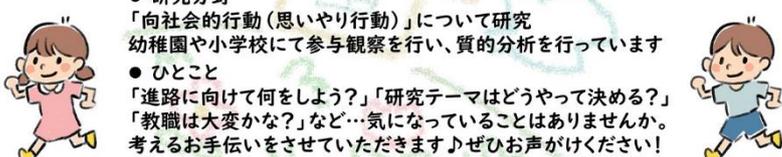
今春、ご卒業される皆様、ご卒業おめでとうございます。さらなるご活躍をお祈りしております。

## つぶやき5♪ リージョナルランドマークストアで日本の文化を感じる

春休みも残すところ一か月となりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。私は大学 4 年生で、周りの同学年の友人たちは、卒業旅行で海外に行っているようです。私は海外に行く予定はないのですが、今月は京都に行く用事があります。京都はとても好きな場所で、風情ある町並みや体験がお気に入りです。京都でのお気に入りの場所は、たくさんあるのですが、特に毎回訪れるのは「ブルーボトルコーヒー京都カフェ」と「スターバックコーヒー京都二寧坂ヤ

**人間生活学研究科 人間発達学専攻  
博士課程後期 3 年 (児童学)**

- 経歴  
本学 家政学部児童学科 卒業  
本学 家政学研究科児童学専攻(修士) 卒業
- 資格  
保育士 / 幼稚園教諭 / 小学校教員
- 研究分野  
「向社会的行動(思いやり行動)」について研究  
幼稚園や小学校にて参与観察を行い、質的分析を行っています
- ひとつこと  
「進路に向けて何をしよう?」「研究テーマはどうやって決める?」「教職は大変かな?」など…気になっていることはありませんか。考えるお手伝いをさせていただきます。ぜひお声がけください!



サカ茶屋店」です。「ブルーボトルコーヒー京都カフェ」は、築100年を超える2層構造の伝統的な京町屋をリノベートした店です。一方、「スターバックスコーヒー京都二寧坂ヤサカ茶屋店」も、築100年を超える伝統的な日本家屋を使用した店舗です。どちらも、東京はもちろん、様々な場所にあるコーヒー店ですが、このような京都の伝統的な建築物の中に、当日行っても入れて、体験できるという手軽さが大変気に入っているポイントです。

実は、1月のつぶやき『福岡の美しい景色』で紹介している「太宰府天満宮表参道店」も、上記の「京都二寧坂ヤサカ茶屋店」も、日本の各地域の象徴となる場所に建築デザインされ、地域の文化を世界に発信

するスターバックスコーヒーの店舗、リージョナルランドマークストアという店舗です。今回は、このリージョナルランドマークストアを紹介しようと思います。それぞれにそれぞれの地域や文化を象徴する特徴があり、旅先で訪れると、普段馴染みあるカフェがその地域のすばらしさを教えてくれる感じがします。全ての店舗に訪れたことがあるわけではないのですが、特におすすめの店舗一つ目は、「神戸北野異人館店」です。登録有形文化財である2階建ての洋館、北野物語館にある店舗で、1907年(明治40年)に建築された木造2階建ての住宅です。建築当初は米国人が所有していたそうで、当時を感じることができる建物や調度品に囲まれてお茶をすることができます。他にもおすすめの店舗がたくさんあるので、これからもご紹介して、少しでも皆さんの旅のお役に立てればと思っています。

#### [参考 URL]

ブルーボトルコーヒー京都カフェ

<https://store.bluebottlecoffee.jp/pages/kyoto> (最終閲覧日:2023年3月1日)

スターバックスコーヒー京都二寧坂ヤサカ茶屋店

<https://store.starbucks.co.jp/detail-1476/> (最終閲覧日:2023年3月1日)

スターバックスコーヒー神戸北野異人館店

<https://store.starbucks.co.jp/detail-940/> (最終閲覧日:2023年3月1日)

## 文学部 英文学科 4年

●自己紹介  
文学部英文学科4年に在籍しております。現在、中高の教職課程(英語科)を履修中です。

●一言  
英文学科や教職の履修についての相談はもちろん、大学生活に関するちょっとした悩みや不安など、英文学科以外の方も気軽にご相談お待ちしております。

●研究分野  
卒業論文はアメリカの公立校における宗教の問題について研究しております。また、英米文学に関する学びをより深めたいという思いから、卒業後は大学院文学研究科英文学専攻に進学予定です。



ラーニング・サポーターのつぶやき (2023年3月)  
ホームページ [https://lib.jwu.ac.jp/lib/lc\\_ls.html](https://lib.jwu.ac.jp/lib/lc_ls.html)  
編集: JWU ラーニング・commons さくら